

施策 7 家庭・地域の教育力の向上

指標 1	【項目】 幼稚園・保育園家庭教育講座満足度				【説明】 市内幼稚園・保育園の家庭教育講座受講者アンケートにおける満足度の割合				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値						目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	%	—	—	—	96.1				70.0
担当課評価									
【担当課】 地域教育支援課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・市立保育園13園で保護者会等の機会を利用し開催された家庭教育講座に家庭教育講座登録講師を派遣しました。 ・全市立保育園において、家庭教育講座が開催されるよう支援していきます。 									
指標 2	【項目】 コミュニティ・スクール導入校数				【説明】 市立学校におけるコミュニティ・スクール導入校数				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値						目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	校	0	5	7	13				56
担当課評価									
【担当課】 学校管理課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗はあまり順調ではありません。 ・上記評価は目標値（56校）に対する令和4年度実績値（13校）の評価であるため、「進捗はあまり順調ではありません。」となりましたが、令和2、3年度のモデル校に加え、令和4年度には新たに6校に学校運営協議会を設置し、令和5年度の全市立学校への設置に向け、順調に取り組むことができました。 ・今後は、各コミュニティ・スクールの取組が進むよう、情報提供や支援を進めていきます。 									
指標 3	【項目】 各地区子どもサポート委員会新規加入委員数				【説明】 各地区子どもサポート委員会への新規加入委員数				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値						目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	人	0	16	39	62				70
担当課評価									
【担当課】 地域教育支援課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・目標値の70名は、14地区の子どもサポート委員会において、充て職を除く新規加入委員数が、毎年1名ずつ増えていくことで達成する積み重ねの目標値であり、令和4年度まで着実に増えています。また、充て職を除く新規加入委員数と退会委員数はおおむね同数で推移しており、組織の継続性も確保されています。 									

施策 7 家庭・地域の教育力の向上		総合評価 B
総合評価について	<p>全体として進捗はおおむね順調であり、評価もおおむね良好です。コロナ禍のため中止となっていた幼稚園・保育園家庭教育講座を、令和4年度は実施することができました。また、コミュニティ・スクール導入についても、令和5年度からは市立学校全校で実施されます。今後も家庭・地域の教育力の向上のための活動を引き続き進めます。</p>	
学識経験者等 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指標1で「幼稚園・保育園家庭教育講座満足度」を挙げているが、小中学校のPTA家庭教育学級の満足度も捉えていく必要があると考える。また、PTA家庭教育学級を実施するPTAが減ってきているという課題があることから、普段参加することが難しい方に来ていただく日時や手法等を検討し、PTA家庭教育学級が積極的に実施されるよう各々のPTAと市が一体となって考えていく必要がある。 ・ 指標3のように、ボランティア的性格の強い内容のものは苦戦する傾向にあるが、新しい担い手が継続して入ってきていることは頼もしい。引き続き新規加入委員数の増加に努めていただきたい。 ・ 公民館登録グループが減少している中で、地域教育活動の担い手の発掘、育成の取組としてボランティア養成講座の果たす役割は大きいことから、引き続き取組を進めていただきたい。 ・ 公民館登録グループの減少には、公民館まつりの役員の負担等も要因であると考え。市も事務局として資料作成などの関わりを持つことや、各公民館まつりを一体的に実施するなど、負担を軽減するための取組を検討する必要があると考える。 	

【施策】 7 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】 (1)家庭や地域の教育力向上

細 施 策	①家庭教育の支援	担当課	関連指標
		地域教育支援課	指標1
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域や学校をはじめとする豊かなつながりの中で家庭教育が行われるよう、指導者の養成に努めます。 乳幼児の親や児童生徒の保護者を対象に、子どもの成長・発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会を提供します。 小・中学校PTAで実施している家庭教育学級の企画運営に関する情報提供等を行うことで、家庭教育学級の充実を図り、家庭教育の意義や役割についての保護者の学びを支援し、家庭での教育力の向上を目指します。 家庭教育支援の更なる充実のため、関係機関と連携・協力しながら今後の方策について研究を進めます。 		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座登録講師研修会はコロナ禍のため中止 幼稚園・保育園家庭教育講座 実施講座数 14回 実施保育園 13園 参加者数 238名 ※幼稚園は、コロナ禍のため中止 親の学習講座 実施校数 28校 参加者数 2,151名 (市費講師の未派遣校4校 参加者数287名を含む) 高等学校家庭教育講座 参加者数 108名 PTA家庭教育学級運営講座 参加者数 77名 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 親の学習講座、高等学校家庭教育講座、PTA家庭教育学級運営講座は感染対策を十分に行い実施しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> PTA家庭教育学級を実施するPTAが減ってきたため、PTA家庭教育学級の実施目的や運営について、PTAの理解を深める必要があります。また、令和3年度より、PTAでの実施状況や必要な支援について、PTA等に対してアンケートを実施し、支援策を検討していますが、今後も引き続き調査、検討していく必要があります。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実情に合わせて運営できるように、小・中学校の各PTAへ家庭教育学級の運営支援を行い、家庭の教育力の向上を図ります。 		

細 施 策	②社会教育関係団体への支援	担当課	関連指標	
		地域教育支援課	—	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの学びや体験活動の充実を図るため、PTAや子ども会育成会などの社会教育関係団体の活動を支援するとともに、時代や社会情勢の変化に応じた活動の在り方、支援方法を、関係機関と協議・検討します。 			
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 川越市PTA連合会 広報紙「P連かわごえ」を年2回発行（10月、3月） 広報紙コンクール（8月）を開催 PTA講演会（12月）開催 川越市子ども会育成団体連絡協議会 広報「ひろば」を年3回発行（7月、12月、3月） ジュニアリーダーを養成・認定するためのジュニアリーダースクール（5回）、ジュニアリーダーを育成するためのジュニアリーダー研修（6回）を実施 新育成者研修会（2月）、かるた腕試し会（11月）を実施 			
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	PTA講演会参加者数（名）	60	80	146
	ジュニアリーダースクラブ登録者数（名）	348	337	294
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 川越市PTA連合会事業は、コロナ禍でも開催方法等を工夫してほとんどの事業を実施しました。 川越市子ども会育成団体連絡協議会事業については、感染症対策のため開催方法等を工夫することで、ほとんどの事業を実施することができました。ジュニアリーダースクラブ登録者数については、コロナ禍のため令和2年度及び3年度に活動ができなかったことが影響し、新規登録者が減少すると共に退会者が増えるなど全体数が減少しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> PTA活動、子ども会活動を支え、地域を担っていく人材を育成するため、継続的な事業実施が望まれます。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 川越市PTA連合会に対し、引き続き同様の支援を行います。 川越市子ども会育成団体連絡協議会に対し、引き続き支援を行います。 			

【施策】 7 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】 (1)家庭や地域の教育力向上

細 施 策	③地域の教育活動への支援	担当課	関連指標
		中央公民館	指標3
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の教育活動を充実させるため、公民館まつり等を開催し、発表の場を提供するなど、公民館登録グループを支援するとともに、公民館登録グループと協力し公開講座を開催します。 ボランティア養成講座などを実施することにより、公民館活動を通じた地域の教育活動の担い手の育成を図ります。 		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 公民館まつり 11事業実施 (18事業企画) 公民館登録グループの公開講座 67事業実施 延べ参加者数 2,363名 ボランティア養成講座 9事業実施 延べ参加者数 223名 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館まつりは、令和3年度はコロナ禍により未実施でしたが、11事業実施することができました。 登録グループの公開講座は、令和3年度の32事業に比べ増えましたが、令和元年度には100事業実施しており、高齢化の進む登録グループが地域教育活動を行うにあたって、まだコロナ禍の影響を受けていることが考えられます。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進む登録グループが多く、グループの維持が難しい状況があり、以前の水準に戻るか懸念があります。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 公民館登録グループを増やすための取組を継続するほか、ボランティア養成講座などの登録グループに限らない地域教育活動の担い手の発掘、育成の取組について引き続き検討します。 		

【施策の柱】 (2)家庭・地域と学校の連携・協働

細 施 策	①コミュニティ・スクールの導入の推進	担当課	関連指標
		学校管理課	指標2
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールの導入を促進し、「地域とともにある学校づくり」を進めることで、学校と地域の協働による学校教育の充実を図ります。 学校運営協議会を通して、地域の教育力を有効に生かし、学習支援等の具体的支援を得て、教育活動の充実を図ります。 令和5年度に、市立学校における学校評議員制度をコミュニティ・スクールへ移行します。 		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクール先行実施校 6校追加 計13校 教職員等を対象にした研修会 1回 管理職等を対象にした実地研修会 2回 地域住民等への説明 3回 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2、3年度のモデル校に加え、令和4年度には新たに6校設置しました。 令和5年度の市立学校全校設置に向けて、研修会等を実施しています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 未設置校に対する情報提供や研修を継続していく必要があります。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールの全市立学校設置をうけ、円滑な運営に向け、支援します。 管理職をはじめとする学校職員や保護者並びに地域住民等を対象とした活動報告会や、外部指導者による研修等を継続していく予定です。 		

【施策】 7 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】 (2)家庭・地域と学校の連携・協働

細 施 策	②外部人材の積極的活用			担当課	関連指標
				学校管理課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 小、中、特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、多様な体験活動が展開できるように関係団体や地域住民と連携し、各学校の学校教育活動の一層の充実を図ります。 地域人材を活用し、専門的知識、技能の習得、地域に根ざした教育等、指導力の向上を図ります。 				
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材活用事業実施回数 268回 				
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	地域人材活用事業実施回数（回）	151	167	268	
現状・課題	現状 <ul style="list-style-type: none"> 各学校において、多様な体験活動が展開できるよう地域住民等との連携を図っています。 コミュニティ・スクール導入校では、協議会を通じて地域住民が学校運営に参画している学校も増えています。 				
	課題 <ul style="list-style-type: none"> 教育活動の充実のため、より一層の外部人材の活用が必要です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材活用事業の趣旨を周知し、積極的な外部人材の活用を図ります。 コミュニティ・スクールによる地域住民の学校運営への参画の事例を周知し、より一層の外部人材の活用が図れるようにします。 				

細 施 策	③学校評価の活用			担当課	関連指標
				学校管理課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校が設定した目標の達成度や状況を明らかにして、PDCAサイクルによる学校の自己評価、外部アンケートの実施、学校関係者評価などを通して、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と充実を図るとともに、地域に開かれた特色ある学校づくりを目指します。 				
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価を実施した学校数 56校（市立学校全校） 				
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	学校評価を実施した学校数（校）	56	56	56	
現状・課題	現状 <ul style="list-style-type: none"> 教職員による自己評価、児童生徒やその保護者など外部アンケートの実施、学校関係者評価を実施するなど、全ての学校が適切に学校評価を実施しています。 				
	課題 <ul style="list-style-type: none"> 評価者等に対する教育活動の公開が制限される場合は、工夫が必要です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 各学校において適切に学校評価が行われるよう、学校評価の時期や方法等を周知します。 学校評価の評価項目を事前に知らせるなど、学校関係者評価が円滑に進むような方法について情報提供を行います。 				

【施策】 7 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】 (2)家庭・地域と学校の連携・協働

細 施 策	④学校・家庭・地域の連携推進	担当課	関連指標
		地域教育支援課	指標3
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの豊かな人間性や社会性など「生きる力」を育むため、学校、家庭、地域及び社会教育施設が連携・協力し、人と人のネットワークの構築を図りながら、地域の特色を生かした体験活動や学校応援団活動など、地域ぐるみで子どもたちを育てる取組の充実を図ります。 		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 子どもサポート委員会によるイベント型事業数 39件 参加者数 1,702名 子どもサポート委員会による学校応援団活動数 90件 参加者数 4,953名 子どもサポート委員会開催数 83回 参加者数 1,425名 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で多くの地区の状況が変化していく中、各地区が学校及び社会教育施設等と連携し、現状に即した活動の検討を進め、実施形態等を変更して、事業の実施を試みました。昨年度までコロナ禍で中止していた活動が少しずつ再開されつつあります。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区子どもサポート委員の新規委員の確保は順調に推移しておりますが、新規委員が継続して事業に携わり、サポート委員会の中核を担えるよう育成することが課題となっております。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体との連携・協働の中で人材発掘を継続して行います。また、学校と各地区子どもサポート委員会に事業に関するアンケートを実施し、事業の見直しを図ります。 		

細 施 策	⑤放課後子供教室の推進	担当課	関連指標	
		地域教育支援課	—	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 放課後、地域住民等の参画を得て、学習や体験・交流活動を通じ、子どもたちが地域の中で安全・安心に過ごす放課後子供教室について、試行的実施の結果を踏まえ、地域の実情に合わせた導入を推進します。 			
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子供教室 実施 6校 88回 延べ参加者数 2,306名 放課後子供教室試行実施 5校 6回 延べ参加者数 127名 			
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	放課後子供教室実施校数（校）	3	4	11
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 6校で放課後子供教室を実施、5校で試行実施しました。 大学生19名のボランティア登録がありました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日午後を実施する放課後子供教室の当日スタッフに協力可能な地域人材を確保するため、ボランティアの協力が重要です。今後もボランティアバンクの充実を図る必要があります。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子供教室の導入の推進、継続的に実施していくにあたり、協力可能な地域人材を確保するために、ボランティアの協力について近隣の大学等に働きかけます。 			